英語科　学習指導案

八尾市立龍華中学校

研究テーマ：学びへのスムースな導きと、学んだことを定着させ、深めるための授業

教科	英語科	学年・組	第１学年３組	場所	第１学年３組教室
単元名	Lesson7 一般動詞の過去形				（第３時／全８時）
本時の目標	・過去に起こったことをたずねたり、答えたりできるようになる。 ・一般動詞の過去形の疑問文の作り方を理解し、書けるようになる。				
本時の評価規準	・一般動詞の過去形の疑問文の語順や答え方を理解し、適切に英文を書くことができる。 ・過去の出来事について、相手に伝わるように質問したり、質問に応じて答えたりしている。 ・過去の出来事について尋ね合う活動に進んで取り組み、既習事項を活用して自分の考えを伝えようとしている。				

本時の判断基準	評価の観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	支援を要する生徒へのてだて
	思考・判断・表現	相手の過去の経験に関心をもち、質問と応答を組み合わせながら、やり取りを広げている。	過去の出来事について質問し、Yes, I did. / No, I didn't. などを用いて答えている。	質問と応答の例文を示し、使いたい動詞を選ばせることで、安心してやり取りできるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度	既習事項を活用し、よりよい質問や答え方を考えながら、粘り強く活動に取り組んでいる。	教師や友達の助言を参考にしながら、質問したり答えたりする活動に取り組んでいる。	ペア活動の手順を明確に示し、できたことを具体的に認めることで、次の活動への意欲につなげる。

１．本時のめあてと、そのねらい

めあて	**過去の出来事について、相手にたずねたり答えたりして、書けるようになろう。** 【知識・技能獲得型】
ねらい *教材観、生徒観、指導観を含む	*教材観、生徒観、指導観を含む。 積極的に発言する生徒が多く、ペアワークやグループワークなども間違いを恐れることなく活発に行うことができる。しかし、書くことに関しては苦手意識を持っている生徒もいる。ペアワークなどを通して話す・聞くことをたくさん行い、苦手意識を持つ生徒もグループなどで書く演習を行うことによって、少しでも積極的に英語を使うことができる授業を展開していきたい。

２．期待する振り返りの好例（めあてを踏まえて）

過去形の疑問文はDidを前に置くことがわかった。また、ペアの人に過去にしたことについて質問したり、それについて答えたりすることができた。

３．単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一般動詞の過去形や疑問文・否定文の語順、基本的な応答表現を理解し、聞く・話す・読む・書く活動で活用している。	過去の出来事について、場面や相手に応じて必要な情報を尋ねたり、自分の経験を伝えたりしている。	過去の出来事を伝え合う活動に進んで取り組み、既習事項を活用しながら、粘り強く表現しようとしている。

４．単元の指導と評価の計画

時	学習内容	評価の観点	時	学習内容	評価の観点
1	一般動詞過去形　肯定文	知識・技能 主体的	5	Lesson7 Part1	知識・技能 思・判・表
2	一般動詞過去形　不規則動詞	知識・技能 主体的	6	Lesson7 Part2	知識・技能 思・判・表
3 本時	一般動詞過去形　疑問文	知識・技能 主体的	7	Lesson7 Goal①	思・判・表 主体的
4	一般動詞過去形　否定文	知識・技能 主体的	8	Lesson7 Goal②	思・判・表 主体的

５．本時の学習過程

	学習活動	◇指導上の留意点 〇理解の不十分な生徒への手立て	評価の観点 （評価方法）
めあて：過去の出来事について、相手にたずねたり答えたりして、書けるようになろう。			
導入 （５分）	前回の復習（不規則動詞）	〇英単語の読み方等の支援	ペアワーク（主体的）
展開１ （２０分） 展開２ （２０分）	一般動詞過去形疑問文 パワポ→ペアワーク 文法プリント 個人→グループ→答え合わせ	〇英単語の読み方等の支援 教えるときに答えを言うのではなく、解き方やヒントを言うように伝える。 〇英語が苦手な生徒への等の声掛け	文法プリント（知・技）
まとめ （５分）	振り返り記入	「過去の出来事をたずねたり、答えたりするときに、どの表現を使いましたか。実際に自分が伝えた内容を例に説明しましょう。」	振り返り（主体的）